

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2001-119521(P2001-119521A)  
 【公開日】平成 13 年 4 月 27 日 (2001.4.27)  
 【出願番号】特願 平 11-293492  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 1/00 (2006.01)**

**B 6 5 H 1/26 (2006.01)**

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 1 0 8 C

B 6 5 H 1/26 3 1 0 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 7 月 24 日 (2006.7.24)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一对の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレート、を具備することを特徴とする画像記録装置。

【請求項 2】 読取手段を有するベース部と、上面に操作パネルを有し閉位置において前記ベース部との間に紙の搬送路を形成するとともに前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一对の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき後方に移動する前記突出部に連動して装置設置面に略垂直な状態に移動する記録紙トレート、を具備することを特徴とする画像記録装置。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一对の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレート、を具備する構成としたものである。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

本発明の第１の態様に係る画像記録装置は、ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一对の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレート、を具備する構成を採る。

本発明の第２の態様に係る画像記録装置は、読取手段を有するベース部と、上面に操作パネルを有し閉位置において前記ベース部との間に紙の搬送路を形成するとともに前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一对の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき後方に移動する前記突出部に連動して装置設置面に略垂直な状態に移動する記録紙トレート、を具備する構成を採る。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

これらの構成によれば、装置本体のベース部の背面部近傍を支点にして開閉する開閉部から突出した突出部に設けられた軸を支点として記録紙トレートが回動するため、記録紙トレートを取り付けたままでも開閉部と干渉することなく開閉部の開閉動作に連動して記録紙トレートも後方に移動することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】